

ショウジョウバエを用いた
腫瘍進展と全身性代謝変容の関係解析



講師

平林 享 先生

佐々木研究所

腫瘍メタボロミクス研究部 部長

日付：2026 年 1 月 9 日（金）

時間：16時35分～18時05分

場所：E201 教室

講演概要

高齢化社会の進展に伴い、肥満・糖尿病やがん悪液質などの併存疾患を有するがん患者は増加している。しかし、現在の動物モデルを用いたがん研究の多くは健康な若齢個体に依存しており、肥満・糖尿病や加齢に伴う全身性代謝変化が腫瘍の挙動に与える影響は十分に解明されていない。これらの関係を包括的に理解するためには、併存疾患や加齢の影響を反映できるモデル動物の構築が求められている。

私どもはこれまで、ショウジョウバエの高糖質食誘導肥満・糖尿病モデルと多様な腫瘍モデルを組み合わせることで、肥満・糖尿病やがん悪液質に伴う全身性の代謝変化が腫瘍の進展に及ぼす影響を個体レベルで解析してきた。本コロキウムでは、これらの知見に加え、加齢環境が腫瘍の進展に与える影響を理解するための基盤となる、加齢依存的な腫瘍悪性化モデルショウジョウバエについても紹介したい。

問い合わせ先

太田隼人：hayato@soka.ac.jp

研究所HP：<https://www.soka.ac.jp/glycan/>

